

指定管理者による公の施設の管理運営状況（令和7年度分）

施設名	茨城県水戸生涯学習センター
施設所管課	生涯学習課
指定管理者	（公財）茨城県教育財団
指定期間	R3. 4. 1～R8. 3. 31（5年間）

1 施設の概要

施設所在地	水戸市三の丸1－5－38 茨城県三の丸庁舎3階
施設の概要	施設面積 736.59 m² 主な施設内容 講座室（3室）、講師控室
業務内容	生涯学習に関する情報、学習機会の場の提供、調査研究等を行い、県民の生涯にわたる学習活動を推進する。 ・主催事業の実施 ・施設の利用等に関する業務 ・施設整備の維持管理に関する業務 ・その他上記に付帯する業務

2 職員の状況

常勤職員：	14人	非常勤職員：	1人	合計：	15人
-------	-----	--------	----	-----	-----

3 収支状況

令和7年度

（単位：円）

収 入		支 出	
指定管理料	93,145,000	人件費（給与等）	61,743,717
利用料収入	1,420,310	指定事業費	7,510,639
指定事業収入	1,241,104	管理費	19,990,973
自主事業収入	700,000	租税公課等	5,499,552
その他の収入	962	自主事業費	563,435
収入合計	96,507,376	支出合計	95,308,316

4 利用状況

	令和7年度実績	令和6年度実績	令和5年度実績
①年間利用日数(日)	307	306	308
②年間利用者数(人)	29,137	26,900	24,451
③利用料収入(円) (指定管理者収受額)	1,420,310	1,379,570	2,275,000

5 サービス向上に向けた取組み

- ・ホームページへの情報掲載やチラシの生涯学習関連施設等への配布によりPRに努めるとともに、講座室の割引制度を継続し、学習グループ・団体への円滑な生涯学習の場の提供に努めた。
- ・ホームページ上に講座室の空き状況を掲載し（週3回更新）、利用者が予約の際に電話で問い合わせることなく、事前に確認できるようにした。
- ・講座室の利用および事業ごとにアンケートを実施して、より良い環境づくりや次年度以降の企画内容への反映に努めた。また、オンライン受講の促進を図った。

6 利用者満足度調査の結果及び対応状況

○実施方法

講座室利用者及び講座参加者へアンケートを実施した。

○調査結果

①開館日・開館時間（64団体）

大いに満足 60.9%、満足 39.1%、ふつう 0%、不満 0%、大いに不満 0%

②職員・スタッフの対応（65団体）

大いに満足 86.2%、満足 13.8%、ふつう 0%、不満 0%、大いに不満 0%

③施設の清潔さ（65団体）

大いに満足 64.6%、満足 35.4%、ふつう 0%、不満 0%、大いに不満 0%

④プログラムの内容（293人）

大いに満足 45.1%、満足 49.1%、ふつう 0%、不満 5.8%、大いに不満 0%

⑤施設全体（65団体）

大いに満足 41.5%、満足 58.5%、ふつう 0%、不満 0%、大いに不満 0%

○利用者からの意見等

【良い点】

- ・いつも気持ちよく（・快適に）利用させていただいています。

【悪い点】

- ・マイクを通した声が割れ、聞きづらかった。

【要望】

- ・3～6月前から予約を取れるようにして欲しい。
- ・講座室での飲食を可能にして欲しい。（食事をする場所がもう少しあると良い。）
- ・スクリーンではなく、大型液晶モニターがあると良い。
- ・正面玄関にスロープを設置して欲しい。

○対応状況

- ・ワイヤレスマイクを新しい機器に更新し、受信アンテナの位置を変更することで、音質の改善を図った。
- ・過去に予約開始時期を早めた際、キャンセルが多発した経緯があるため、運用の変更については現在慎重に検討を重ねている。
- ・講座室はカーペット仕様のため、飲食は禁止としている。管財課が管理する飲食可能スペースに長机と椅子を設置し、飲食希望者にはそちらを案内している。
- ・小講座室設置の移動式液晶モニターの利用を案内した。
- ・管財課へスロープ設置に関する要望を伝えた。

7 管理運営状況の評価

評価項目	事業計画 (管理指標)	実績 (管理指標に対するコメント)	自己 評価	所管課 評価
法令等の 遵守	法令や条例等（地方自治法、労働関係法、施設・設備の維持管理保全関係法令等）に基づく適切な管理運営が行われているか。	法令等を遵守し、適切な運営を行った。また、規則改正等の際には、都度職員向け研修を実施した。	B	B
維持管理	設備保守点検は、事業計画等に照らし適切か。	保守点検業者へ業務委託し、適切に維持管理した。	B	B
	整理整頓・清掃が行き届いているか。 (建物・植栽等)	床や窓ガラスの清掃、植栽の剪定を専門業者へ委託した。	B	B
	破損箇所の修繕は適切か。	協定書に基づき、指定管理者が対応すべき修繕を行った。	B	B
施設運営	使用日数、使用時間等は守られているか。	条例等を遵守し、適正な施設運営を行った。	B	B
	予約・利用許可等、利用者への対応は平等・公正に行われているか。	規定を遵守し、平等かつ公正に対応した。	B	B
	創意工夫により、魅力ある自主事業の実施等、施設の利用拡大やサービスの向上が図られているか。	事業全般において多角的な広告媒体を活用し、効果的なPR活動を展開した。体験活動を支援する事業では、新たにパンフレットを作成・配布し、情報発信力を強化した。また、社会教育人材の養成・充実に向けて講座の開催回数を増やしたほか、受講者のウェルビーイング向上やSDGsへの意識啓発を図る講座を実施した。	A	A
	利用者の要望を把握し、運営に反映させ、満足度を高めているか。	事業ごとにアンケートを実施し、要望を把握することで業務改善に繋がった。	B	B
運営体制	職員は適切に配置されているか。	人員を適切に配置した。	B	B
	要望、苦情等への対応は迅速かつ適切か。県へ報告しているか。	職員間で苦情等の共有を図り、迅速に対応するとともに県へ速やかに報告した。	B	B
	事故・災害等、緊急時に備えた体制は確保されているか。	危機管理マニュアルを策定し、緊急時迅速に行動可能な体制整備を図った。	B	B
	県、その他関係機関との連携は取れているか。	必要に応じ関係機関との円滑な連携を図った。	B	B
利用状況	利用者数の状況は、計画を達成できているか。	利用者数は増加傾向にあるものの、計画値を下回った。	C	C
	施設の稼働率は、事業計画に照らして適当な水準にあるか。	講座室の稼働率は前年度水準を上回った。	B	B
収支状況	収支計画が適正に執行されているか。	利用料収入は前年度より微増したものの計画を下回ったが、適正に予算執行した。	B	B
	経費削減に向けた取組みがされているか。	必要な経費を適切に執行し、その上で当期も経費削減の徹底に努めた。	B	C

【総合評価】・・・各評価項目及び施設の性格・特殊性を考慮した総合的な評価

自主事業においては、伝わり方を考慮したスクールサポート事業の効果的な広報、SDGs のわかりやすい講座、次年度を見越した人材育成事業を実施するなど、利用拡大やサービス向上を図った。利用者満足度調査の結果では、すべての項目において「大いに満足」と「満足」を合わせて 90%以上と、地域のニーズを捉えた運営となっていることがわかる。

以上のことから、総合的に見て良好であると評価できる。

- ※ ・実績（管理指標に対するコメント）欄については、指定管理者が記入する。
・総合評価欄については、所管課が記入する。
・自己評価、所管課評価欄について

評価	評価基準
A	事業計画を上回る成果があったもの
B	事業計画どおりの成果があったもの
C	事業計画を下回っており、改善努力が必要なもの